

【重要：お申し込みの前にお読みください】

この利用規約（以下「本規約」といいます）は、株式会社マネジメントソリューションズ（以下「当社」といいます）が提供するクラウド型ソフトウェアサービス（SaaS）「PROEVER」または「PROEVER Classic」の利用条件を定めるものです。

本サービスの利用を希望される契約者は、本規約の内容に同意の上、利用申込書をご提出ください。

利用申込書の提出をもって、本規約への同意および本契約の成立とみなします。

なお、本規約は「**PROEVER利用規約**」および「**PROEVER Classic利用規約**」の2部で構成されています。契約者は、ご自身が申し込む対象サービスに該当する規約を必ず確認し、遵守するものとします。

第1編：【PROEVER利用規約】

本編（以下、本編において『本規約』といいます）は、当社が『PROEVER』として提供するサービスに適用されます。**第1部：基本契約条項**

第1章 総則

第1条（用語の定義）

- 本サービス:** 当社が「PROEVER（プロエバー）」の名称で提供するクラウド型ソフトウェアサービス（SaaS）およびこれに付随するサービス。
- 契約者:** 本規約に同意し、当社と利用契約を締結した法人または団体。
- ユーザー:** 契約者の管理の下、本サービスを利用する役員、従業員。
- 入力データ:** ユーザーが本サービス（AI機能を含む）に入力・送信したテキスト、ファイル等の情報。
- 出力データ:** 入力データを基に、本サービス（AI機能）が生成・出力したテキスト、画像、回答等の情報。
- 利用申込書:** 契約者が本サービスの利用を申し込む際に提出する、当社所定の書類。
- 本契約:** 利用申込書および本規約に基づき成立する、当社と契約者との間のサービス利用契約。
- AIクレジット:** 本サービスのAI機能を利用する際に消費される、当社所定の単位。
- AI利用料:** AIクレジットの追加購入にかかる対価。

第2条（規約の適用）

- 本規約は、当社と契約者との間の本サービスに関する一切の関係に適用されます。
- 当社は、法令の変更その他本サービスの運営に必要な範囲で、個人情報に関する規定である第8条（個人情報の取扱い）を除き本規約を変更することがあります。変更内容は、当社ウェブサイト等での公表または契約者への通知をもって効力を生じるものとします。

第3条（契約の成立）

利用希望者が利用申込書を提出し、当社が審査のうえ承諾した時点で本契約が成立します。

第2章 契約期間・料金・解約

第4条（契約期間と自動更新）

1. **契約期間:** 本契約の有効期間は、利用申込書に別段の定めがない限り、利用開始日から1年間とします。
2. **自動更新:** 契約期間満了日の1ヶ月前までに、契約者または当社から書面（電子メール等の電磁的方法を含む）による別段の意思表示がない限り、本契約は同一条件（同ライセンス数・同期間）で自動的に更新されるものとし、以後も同様とします。

第5条（利用料金の支払）

1. 契約者は、利用申込書に定める利用料金を、以下のいずれかの方法（申込時に選択）で、当社の指定する銀行口座に振り込んで支払うものとします。なお、振込手数料は契約者の負担とします。
 - ①**一括払い:** 契約期間分の利用料金全額を、利用開始月の翌月末日までに一括して支払う。
 - ②**年額払い:** 複数年契約の場合等において、1年ごとの利用料金を、各年次の開始月の翌月末日までに支払う。
 - ③**月額払い:** 1年分の利用料金を12分割し、毎月末日までに支払う。
2. 前項で年額払いまたは月額払いを選択した場合であっても、本契約は利用申込書に定める契約期間を通じた確定契約であり、契約者は当該契約期間分の利用料金全額の支払義務を負います。なお、利用開始日が月の途中でであっても1ヶ月分の料金が発生し、日割計算は行いません。
3. AIクレジットと追加購入
 - ①**付与と消滅:** 本サービスには、1ワークスペースにつき月次で所定のAIクレジットが付与されます。付与されたAIクレジット（次号に基づき追加購入した分を含みます）の有効期限は当該月の末日までとし、未使用分は翌月に繰り越されず消滅します。翌月1日には、再度所定のAIクレジットが付与されます。
 - ② **追加購入：** 契約者は、月途中でクレジットが不足した場合等に、当社所定の方法（AIクレジット追加購入同意書）により、追加のAIクレジットを購入することができます。
 - ③ **支 払：** 追加購入したAIクレジットの利用料金（AI利用料）は、基本料金の支払方法にかかわらず、購入月（または利用月）の翌月末日までに支払うものとします。
4. 支払期日を経過しても支払いがなされない場合、契約者は、支払期日の翌日から支払済みに至るまで、年14.6%の遅延損害金が発生します。

第6条（中途解約の禁止と残存期間の支払義務）

1. 本契約は、原則として契約期間の途中で解約はできません。
2. やむを得ない事由により、契約者が契約期間満了前に解約（利用終了）を希望する場合、契約者は、当該契約期間の残存期間に係る利用料金の全額（複数年契約において未払いの年次分を含みます）を一括して支払う義務を負い、既払金の返還を求めることはできません。

第3章 権利義務・免責

第7条（秘密保持）

契約者および当社は、本サービス利用を通じて知り得た相手方の秘密情報を、契約終了後2年間は第三者に開示・漏洩してはなりません（法令に基づく場合を除く）。

第8条（個人情報の取扱い）

契約者および当社は、相手方から取得した個人情報を、個人情報保護法および関連法令を遵守して取り扱うものとします。

第9条（免責）

1. 本サービスは、プロジェクトの成功や特定の利益を保証するものではありません。
2. 当社は、故意または重過失がない限り、本サービスの不具合や利用により生じた損害について賠償責任を負いません。

第10条（損害賠償額の制限）

当社が契約者に対して損害賠償責任を負う場合であっても、その賠償額の上限は、本契約に基づき契約者が支払った利用料金の総額とします。また、当社は予見の有無を問わず特別損害（逸失利益等）の賠償責任を負いません。

第11条（反社会的勢力の排除）

契約者および当社は、自らが反社会的勢力ではないこと、および反社会的勢力に一切関与しないことを保証します。これに違反した場合、相手方は直ちに契約を解除できます。

第12条（権利義務譲渡の禁止）

契約者および当社は、相手方の書面による事前の承諾なく、本契約上の地位または本契約に基づく権利もしくは義務を、第三者に譲渡、移転、担保設定、その他の処分をすることはできません。

第13条（準拠法・管轄）

本契約は日本法に準拠し、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第4章 トライアル利用に関する特則

第14条（トライアル利用の特例）

1. **適用の範囲:** 契約者が、本サービスをトライアル（試用）またはβ版として無償で利用する場合（以下「トライアル利用」といいます）、本章の規定が他の規定に優先して適用されます。
2. **利用期間:** トライアル利用の期間は、当社が別途指定した期間に限るものとします。第4条（自動更新）の規定は適用されず、期間満了をもって利用契約は終了します。
3. **無償および非保証:** トライアル利用は無償で提供されるため、現状維持（As-Is）での提供となります。当社は、本サービスの機能、性能、安全性、正確性（AIのハルシネーションを含む）について、明示・黙示を問わず一切の保証を行いません。
4. **免責の特則:** トライアル利用に関して契約者に損害が生じた場合であっても、当社は、当社に故意または重過失がある場合を除き、一切の損害賠償責任を負いません。

5. **データの扱い:** トライアル期間終了後、速やかに有償の本契約へ移行しない場合、当社はトライアル期間中に蓄積されたデータを削除できるものとします。当社はデータの消失による損害について責任を負いません。
6. **一方的な終了:** 当社は、当社の裁量により、予告なくトライアル利用の中止または機能を制限することができるものとします。

第2部：サービス仕様・利用ルール

第5章 サービス仕様と環境

第15条（提供機能と仕様変更）

1. **提供機能:** 当社は、プロジェクトマネジメント管理機能、AIエージェント機能、およびワークスペースを提供します。ただし、利用可能な具体的な機能の範囲（AI機能や外部サービス連携の有無等）は、契約者が申し込んだ利用プラン（Liteプラン等）によって異なり、詳細は利用申込書またはPROEVER料金プランに定めます。
2. **仕様変更:** 当社は、AIモデルのアップデートやサービスの機能改善のため、本サービスの仕様を随時変更することができます。

第16条（利用環境と責任分界点）

1. **環境:** 本サービスはクラウド（SaaS）形式で提供されます。PCやインターネット環境は契約者の責任で準備してください。
2. **非提供事項:** 利用者設備の接続設定、OSやハードウェアに関する問い合わせ対応、記録媒体等の提供は本サービスに含まれません。
3. **セキュリティ:** 利用者と当社の責任範囲の詳細は、当社が別途定める「クラウドサービスセキュリティホワイトペーパー」に準拠します。

第17条（アカウント管理）

1. 当社は、1契約者につき1つのワークスペースを提供します。契約者は申込ライセンス数を上限としてユーザーIDを登録できます。
2. 契約者は、ワークスペース情報（ID・パスワード等）を秘密として厳重に管理し、第三者に貸与・共有してはなりません。
3. アカウントの不正利用を知った場合、契約者は直ちに当社へ通知するものとします。

第18条（外部サービス・AI連携）

1. 本サービスは、生成AI、プロジェクト管理ツール等の外部サービスと連携可能です。
2. 外部連携機能を利用する場合、契約者は当該外部サービスの利用規約を確認し遵守するものとします。
3. 当社は、外部サービスおよびその生成物（AIの回答等）の正確性、完全性、安全性について保証せず、これに起因するトラブルについて責任を負いません。

第6章 AI機能とデータの取り扱い

第19条（データの権利帰属）

1. **入力データ:** ユーザーが登録した入力データの知的財産権は、契約者に留保されます。
2. **出力データ:** 本サービスが出力したデータ（AI生成物）に関する権利（著作権法上の権利を含む）は、法令および適用されるAIモデルの規約が許す範囲において、契約者に帰属します。ただし、当社は出力データについて何らの権利主張も行いませんが、同時にその権利保護や適法性について保証しません。

第20条（品質向上のためのデータ利用）

1. **利用目的:** 当社は、契約者から提供されたデータ（入力データおよび出力データ、利用ログ等）を、以下の目的で利用できるものとします。
 - ①本サービスの提供、維持、セキュリティ確保。
 - ②本サービス（AIモデルを含む）の精度向上、チューニング、および新機能の開発。
2. **秘密保持との関係:** 前項の利用にあたり、当社は第7条（秘密保持）および第8条（個人情報の取扱い）を遵守し、契約者の事前の同意なく、具体的な入力内容そのものを第三者に公開することはありません。

第21条（AI機能に関する免責・ハルシネーション）

1. **非保証:** 本サービスのAI機能は、確率的に文章や情報を生成する特性上、虚偽、不正確、または偏見を含む情報（いわゆるハルシネーション）を出力する可能性があります。当社は、出力データの正確性、完全性、有用性、および適法性について一切保証しません。
2. **利用者の責任:** ユーザーは、出力データの内容を自らの責任で確認・検証した上で利用するものとします。出力データを利用した結果生じた損害について、当社は責任を負いません。
3. **外部連携:** 本サービスがOpenAI社等の外部AIモデルと連携する場合、当該外部サービスの障害や仕様変更により、本サービスの提供が制限される場合があります。

第22条（アクセス解析と外部送信）

1. **Google アナリティクスの利用:** 当社は、本サービスの利用状況計測・機能改善のために、Google社が提供する「Google アナリティクス」を利用しています。これにより、IPアドレス等のユーザー情報やCookie情報がGoogle社へ自動的に送信される場合があります。
2. **外部送信ポリシー:** Google アナリティクスを含む外部サービスへの情報送信（送信先、利用目的、オプトアウト方法等）の詳細については、電気通信事業法に基づき当社が別途定める「外部送信ポリシー」をご確認ください。
 - 外部送信ポリシー: <https://www.msols.com/external/>
3. **同意:** 契約者およびユーザーは、本サービスの利用をもって、前項のポリシーに従い情報が外部事業者へ送信されることに同意したものとみなします。

第23条（AI機能利用に関する禁止事項）

ユーザーは、AI機能の利用にあたり、以下の行為を行ってはなりません。

1. AIに対し、違法、暴力的、性的、差別的なコンテンツの生成を指示する行為。
2. プロンプトインジェクション攻撃等、AIの制限を回避しようとする行為。
3. AI生成物を、人間が作成したものであると偽って公表する行為（当該AIの規約で禁止されている場合）。

4. システムへの不正アクセス、リバースエンジニアリング、スクレイピング。

第7章 禁止事項・運用・停止

第24条（一般禁止事項）

契約者およびユーザーは、以下の行為を行ってはなりません。

1. 第三者の知的財産権、プライバシー権、名誉を侵害する行為。
2. システムへの不正アクセス、改ざん、リバースエンジニアリング、有害なプログラム（ウイルス等）の送信。
3. 第三者になりすます行為、またはアカウントを複数人で共有する行為。
4. 詐欺、無限連鎖講、公序良俗に反する行為。
5. 当社の設備やネットワークに過度な負荷をかける行為。
6. その他、当社が不適切と判断する行為。

第25条（サービスの一時停止）

当社は、以下のいずれかの場合、本サービスの提供を一時停止することがあります。

1. 天災地変、不可抗力、サイバー攻撃等により提供不能となったとき。
2. データセンターの保守・工事、システムのメンテナンスを行うとき。
3. 契約者が利用料金の支払いを遅滞したとき、または本規約に違反したとき。

第26条（当社による解除）

1. 当社は、契約者が以下の各号のいずれかに該当した場合、何らの催告を要せず、直ちに本契約の全部または一部を解除できるものとします。
 - ①第23条（AI機能利用に関する禁止事項）または第24条（一般禁止事項）に違反したとき。
 - ②利用料金の支払いを2ヶ月以上遅滞したとき。
 - ③監督官庁より営業許可の取消し、停止等の処分を受けたとき。
 - ④支払停止もしくは支払不能の状態に陥ったとき、または手形交換所から不渡り処分を受けたとき。
 - ⑤破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始、特別清算開始の申立てがあったとき。
 - ⑥資産、信用、または支払能力に重大な変更が生じたと当社が判断したとき。
 - ⑦その他、当社が利用者による本契約の履行が困難と判断したとき。
2. 前項による解除が行われた場合、契約者は期限の利益を喪失し、直ちに当社に対する一切の債務を弁済しなければなりません。

第27条（サービスの廃止）

当社は、廃止日の3ヶ月前までに通知することにより、本サービスの全部または一部を廃止することができます。この場合、前払いの利用料金がある場合は未経過分を返金します。

第28条（契約終了後のデータ）

1. 契約終了後、当社は契約者データを当社の規定に従い削除します。

2. 原則としてデータの返還は行いませんが、契約者は有償でのデータ移行サービスを利用できる場合があります。

第2編：【PROVEER Classic利用規約】

本編（以下、本編において『本規約』といいます）は、当社が『PROVEER Classic』として提供するサービスに適用されます。

第1条（用語の定義）

本規約における用語を以下のとおり定義します。

- ①「**本サービス**」とは当社が提供するプロジェクトマネジメントにおける情報を一元管理するSaaSサービスです。PROVEER Classicでは、利用者が当社に提供した情報を当社が定めるプロジェクト診断・成功率の判定基準で評価し利用者に判定結果を表示するサービスもご提供しており、当該サービスも含まれます。
- ②「**利用者**」とは本サービスを利用する法人、団体、組合又は個人のお客様をいいます。
- ③「**再利用者**」とは利用者から本サービスの利用を受ける第三者をいいます。
- ④「**利用申込書**」とは「PROVEER Classic利用申込書」をいいます。
- ⑤「**トライアル申込書**」とは「PROVEER Classicトライアル利用申込書」をいいます。
- ⑥「**本契約**」とは第6条（本契約の成立）に基づき利用者が提出する申込書と、当社からの承諾のご連絡をもって成立する、本規約に基づく本サービス利用に係る契約をいいます。
- ⑦「**月額利用料金**」とは当社が定めるライセンス1個の月額利用単価に申込みライセンス数を乗じた額をいいます。
- ⑧「**期間利用料金**」とは月額利用料金に、利用開始日の属する月から利用終了日の属する月までの月数を乗じた額をいいます。
- ⑨「**利用料金**」とは「月額利用料金」又は「期間利用料金」をいいます。
- ⑩「**コンテンツ**」とは、PROVEER Classic内の文章、音声、音楽、画像、動画、ソフトウェア、プログラム、コードその他の情報をいいます。
- ⑪「**PROVEER Classicワークスペース**」とは、1利用者に対して1つ提供するインターネット上の利用環境をいいます。
- ⑫「**利用者情報**」とは、利用者が本サービス利用の際に登録したデータ及び利用者に関するデータをいいます。
- ⑬「**利用状況データ**」とは、利用者が本サービス利用を通じておこなわれた行動に関する情報のデータをいいます。

第2条（規約への同意）

- 1 本規約は、利用者と当社との間のあらゆる関係に適用されるものとし、利用者は、本サービスを利用するにあたり、自己の責任において本規約を誠実に遵守するものとします。
- 2 利用者は、理由の如何を問わず、本サービスを利用されたことをもって本規約に同意したものとみなされます。

第3条（本サービスの内容）

本サービスの内容は、当社が別途作成する説明資料記載のとおりです。

第4条（仕様の変更）

当社は、本サービスの改良のため、本サービスの仕様を、将来に向けて任意に変更できます。利用者は、この変更に関する異議を述べ、差止め、変更による損害の賠償、変更に関する協議を請求することができません。

第5条（本サービス提供の前提）

利用者は、次の各号に定める事項に承諾した上で、お申込み下さい。

- ① 本サービスは、インターネットを経由して提供されるサービスです。利用者設備の性能又は本サービス用設備の性能、稼働状況、通信環境の技術的又は人為的障害などにより本サービスの品質が変化いたします。
- ② 次のサービスは、利用者に提供されません。
 - ア 利用者設備及び本サービス用設備の接続サービスに関する問い合わせ対応及び障害対応。
 - イ 利用者設備のソフトウェア及びハードウェアに関する問い合わせ対応及び障害対応。
 - ウ 磁気テープ、フロッピーディスク、CDR、USBメモリーその他の電磁的記録媒体及び用紙その他の消耗品の供給。
- ③ 当社に起因しない不具合が生じる場合がございます。

第6条（本契約の成立）

- 1 本サービスの利用を希望する場合は、本サービスの内容及び本規約を理解・承諾した上で、利用申込書に必要事項を記載し当社にご提出下さい。
- 2 前項の利用申込書が提出された場合、当社はその内容につき速やかに審査を行い、適格と認めた場合に限り、利用承諾のご連絡をいたします。審査により不適格と判断した場合は通知をいたしません。（審査結果については当社本サービス担当者までお問い合わせ下さい。）
- 3 利用申込書に記載した内容に変更を生じたときは、直ちに当社にご通知下さい。この通知を怠ったことによる不利益は利用者の負担となり、当社は、通知が届かないことへの異議や不達による損害の賠償には応じかねます。

第7条（利用者の権利）

- 1 当社は、利用者が利用申込書に記載されている期間において本サービスを使用することを許諾いたします。なお、利用者が本契約により使用を許諾される知的財産権は本サービスに関するものに留まり、本契約に伴い利用者が他に何らの権利を取得し又は利用を許諾されることはありません。
- 2 利用者には本契約締結に伴い、当社からPROVEER Classicワークスペース情報が交付されます。PROVEER Classicワークスペースを通して、利用申込書に記載のライセンス数を上限に、利用者はID登録を行い、本サービスをご利用いただけます。本サービスを利用できる端末の数に制限はありません。また、契約期間中のライセンス数の変更については、別途利用者と当社の間で協議の上、書面にて変更するものとします。
- 3 本サービスは、当社が、利用者に、PROVEER Classicワークスペースを提供するものであり、利用者が本サービスを利用して得た情報を利用し成果に結びつけるのは利用者の責任であり当社は一切その責任を負

いません。本サービスは、これを利用する利用者の利益・不利益、プロジェクトの成否を提供するものではなく、その保証をするものでもありません。

第8条（利用料金）

1 本契約の成立により、利用者は、利用申込書に記載されている利用料金を、次のいずれかの支払い方法にてお支払いいただきます。

① 期間利用払い

当社は、利用者に対し、利用申込書に記載の利用開始日が属する月の末日までに、利用申込書に記載の「期間利用料金」に関する請求書を交付いたします。利用者は、請求書発行日が属する月の翌月末日までに、利用申込書に記載の当社が指定する銀行口座にお振込み下さい。なお、振込手数料は利用者の負担とします。

② 月額利用払い

利用開始日が属する月の1日から利用終了日が属する月の末日まで1月単位で計算します。利用者は、利用開始日が属する月の2日以降に申込んだときであっても1ヶ月分の利用料金をお支払いいただき、利用開始日の属する月の1日から利用開始日までの日割分の返還には応じかねます。

当社は、利用申込書に記載の利用開始日が属する月以後、毎月末日までに、利用申込書に記載の「月額利用料金」に関する請求書を交付いたします。利用者は、請求書発行日が属する月の翌月末日までに、利用申込書に記載の当社が指定する銀行口座にお振込み下さい。なお、振込手数料は利用者の負担とします。

2 本サービス利用料金は、当社が、本サービスを開発・運用する費用の一部の負担を求めるもので、本サービスの利用の対価ではありません。そのため、本サービスを実際に利用したか否かにかかわらず、また、本規約の定めや不可抗力により、利用者が本サービスを利用できないときがあっても、利用料金の全額をお支払いいただきます。ただし、利用者が、当社の責に帰すべき事由（当社が調達した回線及びデータセンターの機能に起因する事由又は本サービスに用いている第三者ソフトウェアに起因する事由はこれに該当しません。）により本サービスを利用できなかったときは、利用申込書に定める利用料金から、その停止日数（24時間以内に停止が回復しても1日の停止とみなします）に対応する日割り計算額（1年を365日とし、1円未満切捨。以下本規約において同じ。）を返還します。

3 本契約が利用者の責に帰すべき事由により解除、解約、無効又は取消により終了した場合であっても、利用者が、本サービスを利用したときは、利用者は、利用開始日が属する月から利用終了日が属する月の利用料のうち未払い金を本契約終了後直ちにお支払いいただきます。

4 利用者が本条に記載する支払期日までに本サービスの利用料金の支払いを怠ったときは、当社は本サービスの提供を中止することができ、利用者は利用料金に対する支払期日の翌日から支払済みまで1年を365日とする年14.6%の割合による遅延損害金を利用料金に付加してお支払いいただくものとします。

第9条（トライアル利用に関する特則）

1 利用者は、当社が認めた場合、「トライアル申込書」を提出することにより、トライアル利用をすることができます。

2 トライアル利用の場合は、本規約第8条（利用料金）は適用されません。

第10条（利用環境の整備・責任分解点）

1 本サービスは、利用者において本サービスを利用できる環境を構築・維持していただいて利用するサービスです。当社は、利用者に、本サービスの利用に必要な環境について情報を提供しますが、その環境整備と運用は、利用者の責任で行っていただきます。当社は、利用者の環境・設備の不具合について責任を負わないものとしします。

2 利用者と当社との責任範囲に関する詳細は、当社が定める「クラウドサービスセキュリティホワイトペーパー」が適用されますので、ご参照下さい

第11条（PROVER Classicワークスペース情報の管理）

1 当社は、PROVER Classicワークスペース情報を、利用申込に伴う承諾のご連絡の際に通知します。

2 利用者は、PROVER Classicワークスペース情報を秘密として管理し、第三者に開示、閲覧、貸与し、第三者と共有、提供してはならないものとしします。

3 利用者が、PROVER Classicワークスペース情報が不正に使用されたこと又はそのおそれを知ったときは、直ちに当社に知らせるものとしします。当社が利用者からその通知を受けたときは、利用者及び当社協議の上、PROVER Classicワークスペース情報の変更など必要な措置を講じます。

第12条（利用者情報）

1 当社は、利用者情報を次の目的のために利用します。

- ① 本サービスの提供・管理・運営のため。
- ② 利用者が本サービスを利用するにあたり必要な連絡をするため。
- ③ 本サービスに関連する各種サービス等の案内のため。
- ④ 本サービスの品質向上・機能改善のため。
- ⑤ 本サービスにおけるシステム連携機能（Anyflow等の外部連携サービスを利用して提供される機能を含みます）の提供・維持・管理のため。

2 当社は、利用者情報を、善良な管理者の注意をもって管理し、本規約に別段の定めがある場合を除き、利用者の書面による承諾を得ることなく、本規約に定める以外の目的のために利用あるいは複製し、又は第三者に利用させ、もしくは開示、漏洩いたしません。

3 当社は、利用者情報について、漏洩、滅失又は毀損等の事項が発生した場合、その事実を速やかに利用者に報告するとともに、原因の調査を行い、事故の拡大防止に必要な措置を講ずるものとしします。また、再発防止策を検討し、再発防止に必要な措置を講ずるものとしします。

4 当社は、利用者の利用状況データを取得し、本サービスの機能向上、開発の目的のために解析し、利用し、利用状況データの取得、解析のために、Google Analyticsをはじめとする複数の外部解析ツール・サービス（以下「外部送信ツール等」といいます。）を導入しております。これらの外部送信ツール等によりお客様に関する情報が外部事業者へ送信される場合があります。外部送信ツール等により取得される情報の内容、送信先の事業者名、送信先での利用目的、およびお客様がこれらの情報の送信を停止する方法等の詳細については、別途定める「外部送信ポリシー」をご参照ください。（外部送信ポリシー：<https://www.msols.com/external/>）

5 当社は、利用者からの要望に応じ、利用者のために、利用状況データを様々な解析し、利用者に有用なデータを提供する解析サービスを行います。

第13条（外部サービスとの連携）

1 本サービスは、生成AIサービス、プロジェクト管理ツール及びコミュニケーションツール等の外部サービスとの連携が可能です。連携機能を利用する際は、利用者ご自身が必ず外部サービスの利用規約等を確認し、その内容に従うものとします。

2 当社は、外部サービス及びその利用による生成物に事実上又は法律上の瑕疵（安全性、信頼性、正確性、完全性、有効性、特定の目的への適合性、セキュリティなどに関する欠陥、エラーやバグ、権利侵害などを含みます）がないことを保証するものではなく、外部のサービスの利用に伴い発生したトラブルに関して、当社は一切の責任を負うものではありません。

第14条（禁止事項）

利用者は、本サービスの利用にあたり、次の行為をしてはなりません。

- ① 第三者の著作権・商標権などの知的財産権を侵害する行為又はそのおそれのある行為。
- ② 第三者の財産、プライバシー又は肖像権を侵害する行為又はそのおそれのある行為。
- ③ 第三者を差別し若しくは誹謗中傷し又はその名誉若しくは信用を毀損させる行為。
- ④ 詐欺罪などの刑事犯罪に関連する行為又は当社がそのおそれがあると判断する行為。
- ⑤ 猥褻、児童ポルノ、児童虐待の他公序良俗に反する音声、画像、文書又は図画などを送信又は掲載する行為。
- ⑥ 無限連鎖講を開設し又は加入を勧誘する行為。
- ⑦ 本サービスにより利用しうる情報を改ざん又は消去する行為。
- ⑧ 第三者になりすまして本サービスを利用する行為。
- ⑨ ウイルスなどの有害なコンピュータープログラムなどを送信又は掲載する行為。
- ⑩ 無断で第三者に広告、宣伝若しくは勧誘のメールを送信する行為又は第三者が嫌悪感を抱くと認められ若しくはそのおそれのある電子メール（迷惑通信）を送信する行為。
- ⑪ 第三者の設備など若しくはインターネット接続サービス用設備の利用若しくは運用に支障を与える行為又は当社がそのおそれがあると判断した行為。
- ⑫ 法令、条例などに違反し又は公序良俗に反する行為（売春の斡旋、暴力、残虐行為など）
- ⑬ 人を困惑畏怖させ、不快感を催させる行為。
- ⑭ 前各号の行為を幫助若しくは助長し又は本サービスを前各号の行為に利用し若しくはこれに供する行為。
- ⑮ 前各号のほか、当社又は利用者のいずれかが本サービスの利用に不相当と判断する行為。

第15条（本サービスの一時的な提供停止）

1 当社は、以下のときには、本サービスの提供を停止することがあります。

- ① 戦争、テロ行為、騒乱、暴動、致死的な伝染病の流行を含む天災地変（以下「天災地変」といいます）その他の不可抗力、第三者による加害行為（サイバーテロなど）によりサービスの提供が不能となったとき。
- ② データセンターの保守・工事その他のやむを得ない事由があるとき。
- ③ 通信回線の役務を提供する電気通信事業者が、当該回線に係る電気通信業務を停止したとき。
- ④ 利用者に以下の事由が生じたとき。
 - ア 利用者が本規約第8条（利用料金）で定めた利用料金の支払いを遅滞したとき。
 - イ 利用者が本規約の各条項に違背したとき。
- ⑤ 利用者の帰責事由を問わず、本サービスを利用者に提供することが、当社において、当社の業務に著しい支障を来し、又はそのおそれがあると認めたとき。

2 当社は、前条に基づき当社が行った措置によって利用者に生じた損害について一切の責任を負いません

3 当社は、利用者が本規約第14条（禁止事項）各号の一に該当する行為を行ったときは、その中止を求めることができ、利用者がこれに応じない場合には、本サービスの利用を停止し、違法・有害な情報の全部又は一部を削除することがあります。

第16条（秘密保持）

1 利用者及び当社は、本サービス利用中は勿論、本サービスの利用終了後2年間は、本サービスの利用により相手方より提供を受けた経営上、技術上、営業上その他業務上の秘密情報（文章、口頭、磁気ディスクその他媒体等の伝達手段を問いません）を秘密として取り扱うものとし、相手方の承諾なく第三者に提供・開示・漏洩又は本契約の目的外に利用してはならないものとします。但し、法令や官公庁の指示・命令等により開示が要請されたときに当該要請に応じて提供・開示する場合及び自社の親会社（当該親会社のグループ会社を含みます）並びに税理士、弁護士、その他の法律上の守秘義務を負う専門家に対して開示する必要がある場合はこの限りではありません。

2 次の各号のいずれかに該当する資料及び情報は前項の秘密情報に含まれないものとします。

- ① 既に公知のもの又は自己の責に帰すことのできない事由により公知となったもの。
- ② 既に保有しているもの。
- ③ 守秘義務を負うことなく第三者から正当に入手したもの。
- ④ 相手方から書面により開示を承諾されたもの。
- ⑤ 秘密情報によらずに独自に開発し又は知り得たもの。

第17条（個人情報の取扱い）

1 利用者及び当社は、本サービスの利用により相手方から取得した個人情報（「個人情報の保護に関する法律」（以下「個人情報保護法」という。）第2条第1項に規定する情報をいい、以下「個人情報」という）を、法令に従い、個人情報保護委員会が発するガイドラインを遵守して取り扱わなければならないものとします。

2 当社は、利用者の個人情報について、本サービスの趣旨の範囲を超えて、利用、加工、複写及び複製を行わないものとします。

3 当社は、利用者の個人情報について、漏洩、滅失又は毀損等の事項が発生した場合、個人情報保護法に基づきその事実を速やかに利用者に報告するとともに、原因の調査を行い、事故の拡大防止に必要な措置を講ずるものとします。また、再発防止策を検討し、再発防止に必要な措置を講ずるものとします。

4 利用者及び当社は、本契約が終了したとき、相手方から要求があったとき又は本サービス提供のために必要がなくなったときは、相手方の指示に応じ、前項の個人情報を記録した媒体及びその複製物を返還又は破棄し、これを所持しないことを相互に確認するものとします。開示が電子文書又は電磁的記録による場合の返却及び破棄処分の方法に関しては利用者及び当社が協議の上決定するものとします。

5 前各項のほか当社の個人情報の取扱いについては、当社HPの個人情報保護方針に定めるとおりとします。

第18条（免責）

当社は、故意・重過失がないかぎり、本サービスの不具合により利用者その他の第三者に生じた一切の損害につき、賠償する義務を負わないものとします。

第19条（損害賠償額の制限）

1 利用者及び当社は、当社が前条により損害賠償責任を負うときであっても、当社が負担する賠償額は本契約に基づく利用料金の総額を上限とします。

2 当社は、その予見の有無にかかわらず特別損害の賠償義務を負わないものとします。

第20条（権利義務譲渡の禁止）

利用者は、予め当社から書面による承諾を得なければ、本契約にもとづく権利を第三者に譲渡し、担保に供し、利用させ、義務を引き受けさせることはできません。

第21条（中途解約）

1 利用者及び当社は、利用開始日から終了日まで、本契約を解約することができません。

2 前項にかかわらず、利用者は、解約日以降利用終了日までの未払利用料金全額を支払い、その返還請求権を放棄することにより、利用開始日から利用終了日までの間に本契約を将来に向けて解約することができます。

第22条（無催告解除）

利用者が次の各号のいずれかに該当するときは直ちに期限の利益を失い、当社は、何らの催告を要せず、直ちに本契約の全部又は一部を解除することが できます。

- ① 利用申込書又はトライアル利用申込書に虚偽又は重大な過誤があり、当社から利用者に対する是正の催告の後相当の期間が経過してもなお是正がなされないとき。
- ② 利用者が本規約に違反し、当社から利用者に対する当該違反の是正の催告の後相当の期間が経過してもなお当該違反が是正されないとき。
- ③ 利用者が本規約第8条（利用料金）で定める支払期日をすぎても利用料を支払わず、利用者に対する支払い催告の後相当の期間が経過してもなお利用料が支払われないとき。
- ④ 利用者が利用料の支払いを行わずに支払い期日を経過したことが合計3回となったとき。
- ⑤ 利用者が本サービス用設備などに支障を及ぼし又は及ぼすおそれのある行為を行ったとき。

- ⑥ 利用者が差押・仮差押・仮処分・租税滞納処分その他公権力の処分を受けたことにより、本サービスの提供に支障があると認められるとき。
- ⑦ 利用者について民事再生手続開始・会社更生手続開始・破産手続開始・特別清算手続開始又はその他整理手続（任意整理を含みます）開始の申立をし又はなされたとき。
- ⑧ 利用者が自ら振り出し若しくは引受けた手形又は小切手について一度でも不渡処分を受けたとき。
- ⑨ その他、当社が利用者による本契約の履行が困難と判断したとき。

第23条（本サービスの廃止）

1 当社は、次の各号のいずれかに該当する場合、本サービスの全部又は一部を廃止し、廃止日をもって本契約の全部又は一部を解約することができます。

- ① 廃止日の3ヶ月前までに利用者に通知したとき。
- ② 本規約第15条（本サービスの一時的な提供停止）第1項第1号に規定する事由により本サービスを提供できないとき。
- ③ 本サービス用設備に供される機器又はソフトウェアについて、当該機器又はソフトウェアの供給元から保守サービスを受けることができなくなったとき。

2 前項の規定に基づき本サービスの全部又は一部を廃止する場合、利用料金は以下のとおり返還又はお支払いいただきます。

- ① 前払いで利用料金をお支払いいただいている場合は、この廃止によりサービスを提供できない日数に対応する日割計算額を、利用者に返還します。
- ② 後払いで利用料金をお支払いいただいているときは、本契約に基づきお支払いいただく手数料から、廃止によりサービスを提供できない日数に対応する日割り計算額を控除した額をお支払いいただきます。

第24条（契約終了後の処理）

利用者及び当社は、本契約が終了した場合、次の各号に定める措置を速やかに講じます。

- ① 当社は、利用者が本規約に基づき本サービスを利用するにあたり利用者から提供を受けた情報、データを返還しません。但し、返還を必要とする利用者は、移行可能な範囲でデータ移行サービスを有償で利用することができます。
- ② 当社は、正当な理由のある場合を除き、本サービスの利用にあたって利用者から提供を受けた前号以外のデータや資料など（資料などの全部又は一部の複製物を含む。以下同じ。以下「資料等」といいます）のうち、当社が、利用者を特定できず又は利用者が本サービスを利用したプロジェクトを特定できないように加工したものを除くすべての資料等を当社の責任で完全に消去します。

第25条（反社会的勢力との絶縁の保証）

1 利用者及び当社は、相手方に対し、本契約締結時及び本契約締結後において、次の各号に定める事項について保証するものとします。

- ① 暴力団、暴力団関係企業、総会屋若しくはこれらに準じる者又はその構成員（以下総称して「反社会的勢力」といいます）ではないこと。

- ② 反社会的勢力から、直接・間接を問わず、かつ、名目の如何を問わず、資本・資金を導入し、資本・資金上の関係の構築を行っていないこと。
- ③ 反社会的勢力に対して、直接・間接を問わず、かつ、名目の如何を問わず、資金提供を行っていないこと。
- ④ 反社会的勢力に属する者及びそれらと親しい間柄の者を会社又は子会社の役員等を選任しておらず、また、会社又は子会社の従業員として雇用してはいないこと。
- ⑤ 反社会的勢力が、直接・間接を問わず経営に関与していないこと並びに反社会的勢力のその他支配及び影響を受けていないこと。
- ⑥ 反社会的勢力に事故の名義を利用させていないこと。
- ⑦ 自ら又は第三者を介して、一方当事者に対して、暴力行為又は脅迫行為等の、違法行為を行わないこと。

2 利用者及び当社は、前項に対する違反を発見した場合、直ちに相手方にその事実を報告するものとします。

3 利用者及び当社は、相手方が前項の保証に反すると合理的に判断したときには、何らの通知・催告その他の手続を要せず、本契約を直ちに解除することができるものとします。

4 利用者及び当社は、前項の定めにより本契約を解除した場合、これにより相手方に損害が生じても何らこれを賠償ないし補償することを要せず、自己が被った損害の賠償を相手方に請求できるものとします。

第26条（規約の変更）

1 当社は、法令の変更その他本サービスの運営に必要な範囲で、個人情報に関する規定である第17条（個人情報の取扱い）を除き本規約を変更することがあります。その場合、当社は、変更後の本規約の内容及び効力発生日を、本サービス若しくは当社ウェブサイトに表示し、又は当社が定める方法によりお客様に通知することでお客様に周知します。

2 変更後の本規約は、改定日より効力が生じるものとします。

第27条（協議など）

利用者及び当社は、本規約の各条項の解釈に疑義のある場合及び本規約に定めのない事項については、互いに誠意をもって協議し、その解決を図るものとします。

第28条（準拠法）

本契約及び本規約に関する準拠法を、日本法と定めるものとします。

第29条（合意管轄）

利用者及び当社間で本契約に関して紛争が生じた場合、その訴訟の第一審の専属的管轄裁判所を、東京地方裁判所と定めるものとします。

以上